

岡山県感染症週報 2014 年 第 35 週 (8 月 25 日～8 月 31 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症 警報』発令中です。

◆2014 年 第 35 週 (8/25～8/31) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 33 週 2 類感染症 結核 1 名 (60 代 男)
 第 34 週 2 類感染症 結核 2 名 (50 代 女 1 名、80 代 女 1 名)
 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (60 代 男)
 第 35 週 2 類感染症 結核 1 名 (70 代 男)
 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3 名
 (O111: 児童 女 1 名、40 代 男 1 名、O157: 幼児 女 1 名)
 5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名 (50 代 男)

■定点把握感染症発生状況

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で 46 名 (定点あたり 0.85 → 0.85 人) の報告があり、前週と同数でした。
 ○ヘルパンギーナは、県全体で 64 名 (定点あたり 1.13 → 1.19 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

1. [デング熱](#)の国内感染事例が発生しています。詳しくは、『[今週の注目感染症](#)』をご覧ください。
2. [腸管出血性大腸菌感染症](#)は、第 35 週に 3 名の報告があり、2014 年累計報告数は 58 名となりました。岡山県では、『[腸管出血性大腸菌感染症 警報](#)』を県下全域に発令し、注意喚起を図っています。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症 警報 発令中!](#)』をご覧ください。
3. [A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)は、県全体で 46 名 (定点あたり 0.85 → 0.85 人) の報告があり、前週と同数でしたが、過去 10 年間の同時期と比較して最も多い状態で推移しています。特に、岡山市 (0.93 → 2.07 人) 及び倉敷市 (2.09 → 1.09 人) で報告数が多くなっています。ひきつづき手洗いやうがいなど、一般的な感染予防に努めましょう。
4. [ヘルパンギーナ](#)は、県全体で 64 名 (定点あたり 1.13 → 1.19 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、備北地域 (1.75 人)、倉敷市 (1.55 人)、岡山市 (1.36 人) の順で患者報告数が多くなっています。この感染症は、小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表的なもので、例年初夏から初秋にかけて発生します。流行のピークは越えたと思われますが、うがいや手洗いをを行うなど、ひきつづき感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★★
感染性胃腸炎		★★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎			クラミジア肺炎		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					

【記号の説明】 前週からの推移: : 2 倍以上の減少 : 1.1～2 倍未満の減少 : 1.1 未満の増減

: 1.1～2 倍未満の増加 : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白: 発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い

今週の流行状況を過去 5 年間で比較し、5 段階で表示しています。

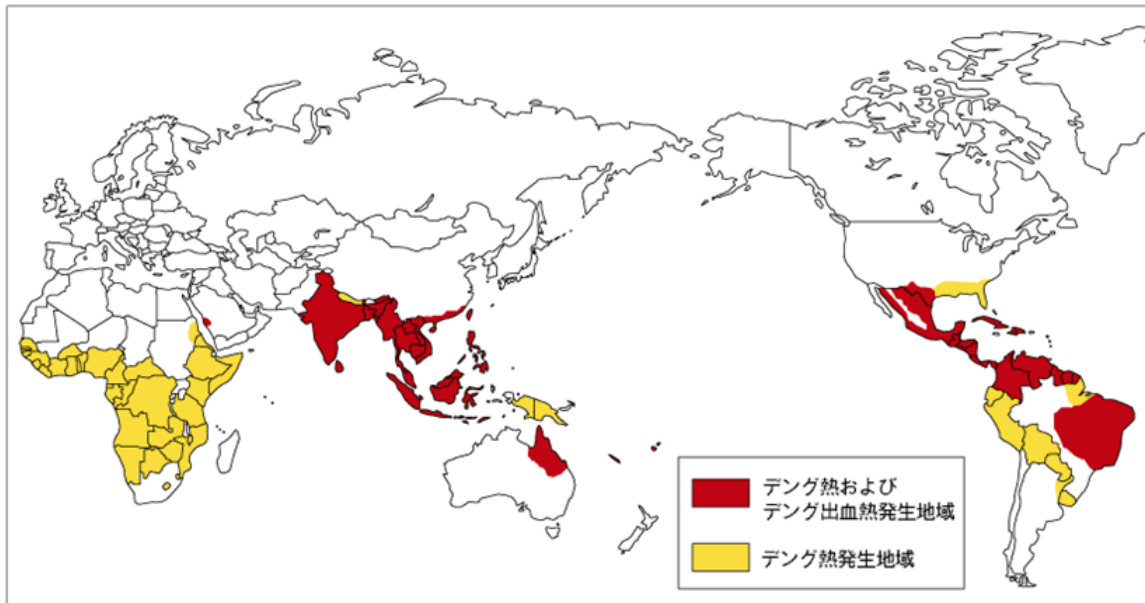
感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

今週の注目感染症

デング熱

デング熱とは、デングウイルスをもつ蚊に刺されることで起こる急性の熱性感染症です。デング熱は熱帯や亜熱帯の全域で流行しており、東南アジア、南アジア、中南米で患者報告数が多くなっています。その他、アフリカ、オーストラリア、南太平洋の島でも発生があります。日本には主な媒介蚊であるネッタイシマカは常在していませんが、媒介能力のあるヒトスジシマカは日本のほとんどの地域（青森県以南）で見られます。

デング熱・デング出血熱の発生地域（国立感染症研究所）



【全国の発生状況】

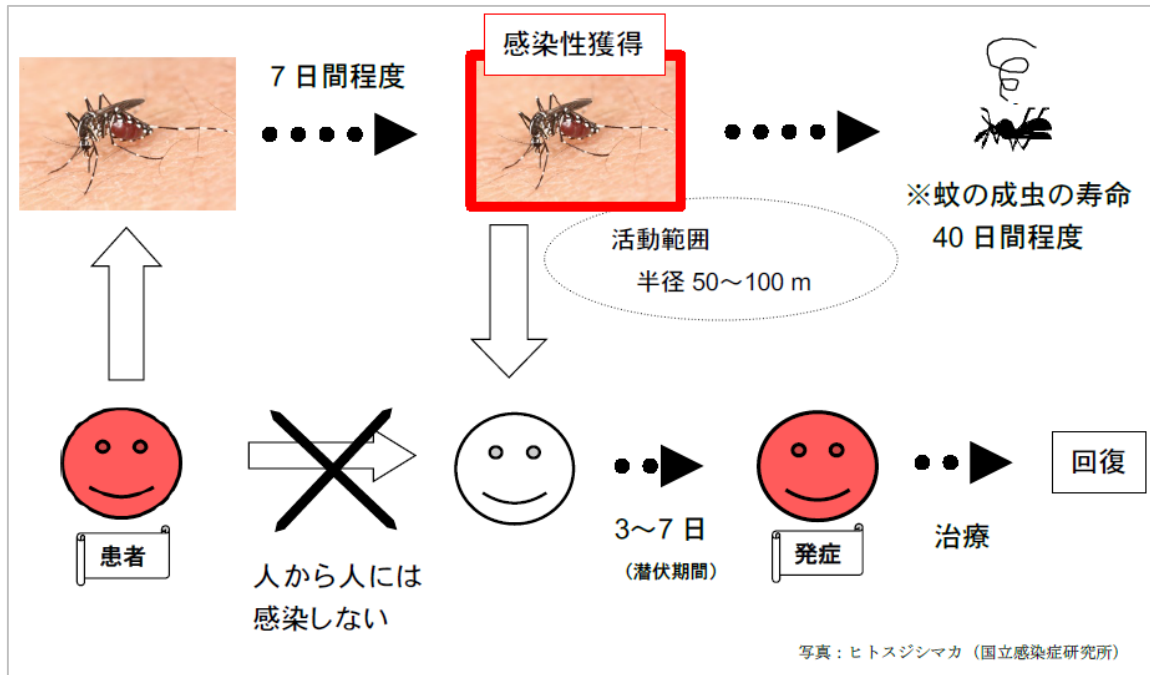
近年の日本では、海外で感染し帰国後発症する輸入症例が、年間約 200 例報告されています。過去 60 年以上国内感染の報告はありませんでしたが、2014 年 8 月に国内感染事例が確認されました。9 月 4 日現在、55 名の感染患者が報告されています。疫学調査の結果、全ての患者が、発症前に東京都立代々木公園またはその周辺への訪問歴があること、1 ヶ月以内の海外渡航歴がないことが判明しており、代々木公園でデングウイルスを保有している蚊に刺されて感染した可能性が疑われています。

【岡山県の発生状況】

9 月 2 日、倉敷市からデング熱を疑う患者の発生があったことが発表され、都立代々木公園での感染が疑われています。記録で確認できる 1999 年から 2014 年 8 月までで、岡山県において報告されたデング熱は 11 件であり、全て海外で感染したと思われる事例です。推定感染地域は、インドネシアが最も多く、マレーシア、ネパール、インド、フィリピンなどでした。

[デング熱とは（国立感染症研究所）](#)
[デング熱に関する Q&A（厚生労働省）](#)

【主な感染経路】



デング熱は、デングウイルスに感染した患者から血を吸った蚊がウイルスを媒介して、他の人に感染が広がる疾患です。患者を蚊（ネッタイシマカ、ヒトスジシマカ）が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することで感染が成立します。ヒトからヒトに直接感染することはありません。今後国内で流行する可能性は低いと考えられます。また、感染した場合も、一般的に1週間前後で回復するとされているため、過度な心配は必要ありません。なお、蚊に刺されて高熱などの症状がある場合は、かかりつけの医療機関などを受診してください。

【症 状】

蚊に刺されてから2～15日（多くは3～7日）の潜伏期間の後、急な発熱（38℃以上）で発症し、頭痛、筋肉痛、眼窩痛、皮膚の発疹などを呈します。体内からウイルスが消失とともに症状が治まり、予後は比較的良好な感染症です。しかし、ごくまれに一部の患者において、ショックや出血傾向を主な症状とするデング出血熱に移行することもあります。

【予 防】

デング熱に有効なワクチンはありません。蚊に刺されないようにすることが重要です。

【治 療】

デング熱に対する治療薬はありません。症状に応じた対症療法となります。

<蚊に刺されないためのポイント>

- * 長袖、長ズボンを着用するなど、屋外の作業において、肌の露出を避ける。
- * 虫よけ剤を使用し、蚊を寄せ付けないようにする。
- * 室内の蚊の駆除を心がける。
- * 蚊の幼虫の発生源をつくらないようにする。
 - ・ 植木鉢の受け皿や空き缶・ペットボトル、古タイヤに溜まった水は捨てる。
 - ・ 雨水タンクに蓋をする。
- * 海外渡航の際は、設備（網戸やエアコンなど）が整った宿泊施設を利用する。

保健所別報告患者数 2014年 35週 (2014/08/25～2014/08/31)

2014年9月3日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	3	0.14	1	0.06	1	0.07	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	4	0.07	3	0.21	—	—	—	—	1	0.14	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	11	0.20	1	0.07	—	—	—	—	2	0.29	—	—	1	0.50	7	1.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	0.85	29	2.07	12	1.09	2	0.20	2	0.29	—	—	—	—	1	0.17
感染性胃腸炎	324	6.00	60	4.29	80	7.27	65	6.50	19	2.71	34	8.50	6	3.00	60	10.00
水痘	17	0.31	3	0.21	8	0.73	1	0.10	4	0.57	—	—	—	—	1	0.17
手足口病	32	0.59	5	0.36	13	1.18	2	0.20	1	0.14	6	1.50	—	—	5	0.83
伝染性紅斑	1	0.02	—	—	1	0.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	36	0.67	17	1.21	8	0.73	5	0.50	3	0.43	1	0.25	—	—	2	0.33
百日咳	1	0.02	1	0.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	64	1.19	19	1.36	17	1.55	8	0.80	5	0.71	7	1.75	2	1.00	6	1.00
流行性耳下腺炎	13	0.24	6	0.43	2	0.18	2	0.20	2	0.29	—	—	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	6	0.50	3	0.60	3	0.75	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(— : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2014年 35週 (2014/08/25～2014/08/31)

2014年9月3日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	3	0.14	1	0.06	1	0.07	—	—	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	11	0.20	1	0.07	—	—	—	—	2	0.29	—	—	1	0.50	7	1.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	0.85	29	2.07	12	1.09	2	0.20	2	0.29	—	—	—	—	1	0.17
感染性胃腸炎	324	6.00	60	4.29	80	7.27	65	6.50	19	2.71	34	8.50	6	3.00	60	10.00
水痘	17	0.31	3	0.21	8	0.73	1	0.10	4	0.57	—	—	—	—	1	0.17
手足口病	32	0.59	5	0.36	13	1.18	2	0.20	1	0.14	6	1.50	—	—	5	0.83
伝染性紅斑	1	0.02	—	—	1	0.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
百日咳	1	0.02	1	0.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	64	1.19	19	1.36	17	1.55	8	0.80	5	0.71	7	1.75	2	1.00	6	1.00
流行性耳下腺炎	13	0.24	6	0.43	2	0.18	2	0.20	2	0.29	—	—	—	—	1	0.17
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	6	0.50	3	0.60	3	0.75	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2014年 第35週 2014/08/25～2014/08/31)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	4	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	11	-	2	1	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	-	6	10	1	4	5	4	2	6	-	2	3	1	2
感染性胃腸炎	324	8	23	54	41	31	25	23	17	8	14	6	26	9	39
水痘	17	1	-	3	3	3	4	1	2	-	-	-	-	-	-
手足口病	32	-	1	12	7	5	2	3	-	1	1	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	36	-	20	15	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	64	-	9	20	9	7	7	4	3	1	2	1	1	-	-
流行性耳下腺炎	13	-	-	-	2	1	2	4	2	1	-	-	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	-	1

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

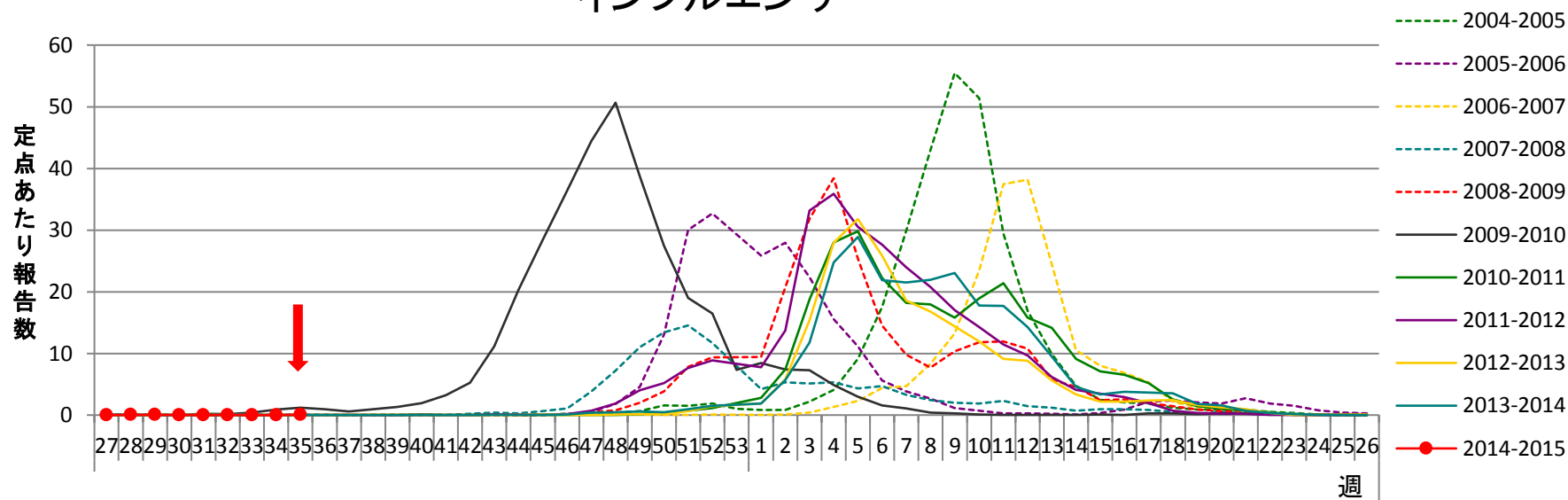
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

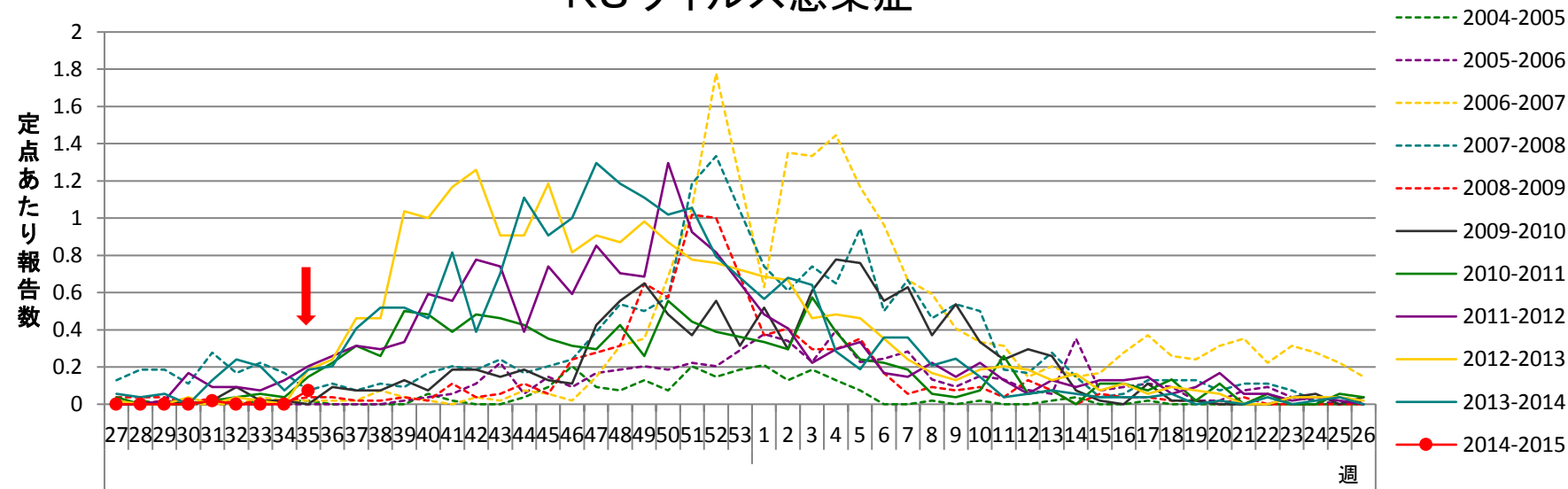
2014 年 35 週

分類	疾病名	2014			2013	2014	2013	2014	2013	2014	2013
		今週	累計	昨年		今週	累計	今週	累計	今週	累計
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱 ペスト	-	-	-	痘そう マールブルグ病	-	-
	南米出血熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核 鳥インフルエンザ(H5N1)	1	235	358	ジフテリア	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-		-	-	-		-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢 パラチフス	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	3	58
	腸チフス	-	-	1		-	-	-		-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱 黄熱 回帰熱 狂犬病 重症熱性血小板減少症候群 ダニ媒介脳炎 つつが虫病 鳥インフルエンザ 日本紅斑熱 鼻疽 ヘンドラウイルス感染症 マラリア リッサウイルス感染症 レジオネラ症	-	-	-	A型肝炎 オウム病 キャサヌル森林病 コクシジオイデス症 腎症候性出血熱 炭疽 デング熱 ニパウイルス感染症 ハンタウイルス肺症候群 ブルセラ症 発しんチフス 野兎病 リフトバレー熱 レプトスピラ症	-	6
	エキノコックス症	-	-	-		-	-	-		-	-
	オムスク出血熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	Q熱	-	-	-		-	-	-		-	-
	サル痘	-	-	-		-	2	2		-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-		-	-	-		-	-
	チクングニア熱	-	-	-		-	1	-		-	-
	東部ウマ脳炎	-	-	-		-	-	-		-	-
	日本脳炎	-	-	1		-	2	2		-	-
	Bウイルス病	-	-	-		-	-	-		-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-		-	-	-		-	-
	ポツリヌス症	-	-	-		-	-	1		-	-
	ライム病	-	-	-		-	-	-		-	-
	類鼻疽	-	-	-		-	20	24		-	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-
五類	アメーバ赤痢	1	7	20	ウイルス性肝炎*3 クロイツフェルト・ヤコブ病 ジアルジア症 侵襲性肺炎球菌感染症 破傷風 風しん	-	5	13	急性脳炎*4 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 先天性風しん症候群 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染 麻しん	-	8
	クリプトスポリジウム症	-	-	-		-	-	4		-	3
	後天性免疫不全症候群	-	13	18		-	-	1		-	-
	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-		-	18	20		-	-
	梅毒	-	11	8		-	-	4		-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	1		-	2	76		-	6

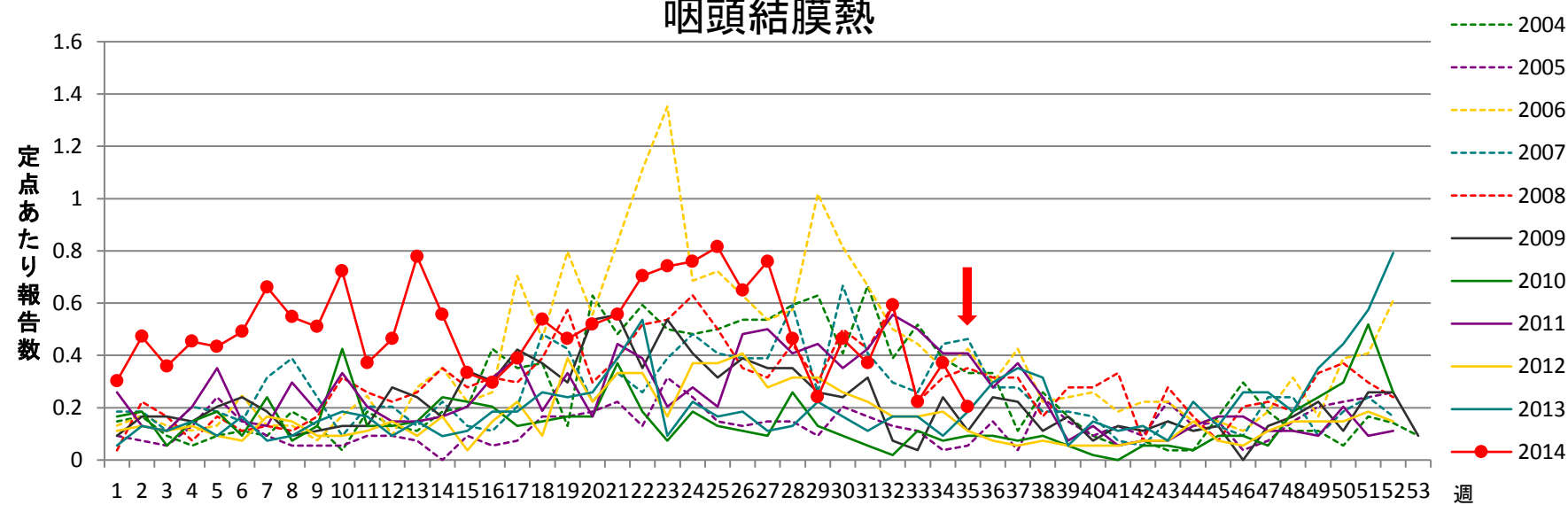
インフルエンザ



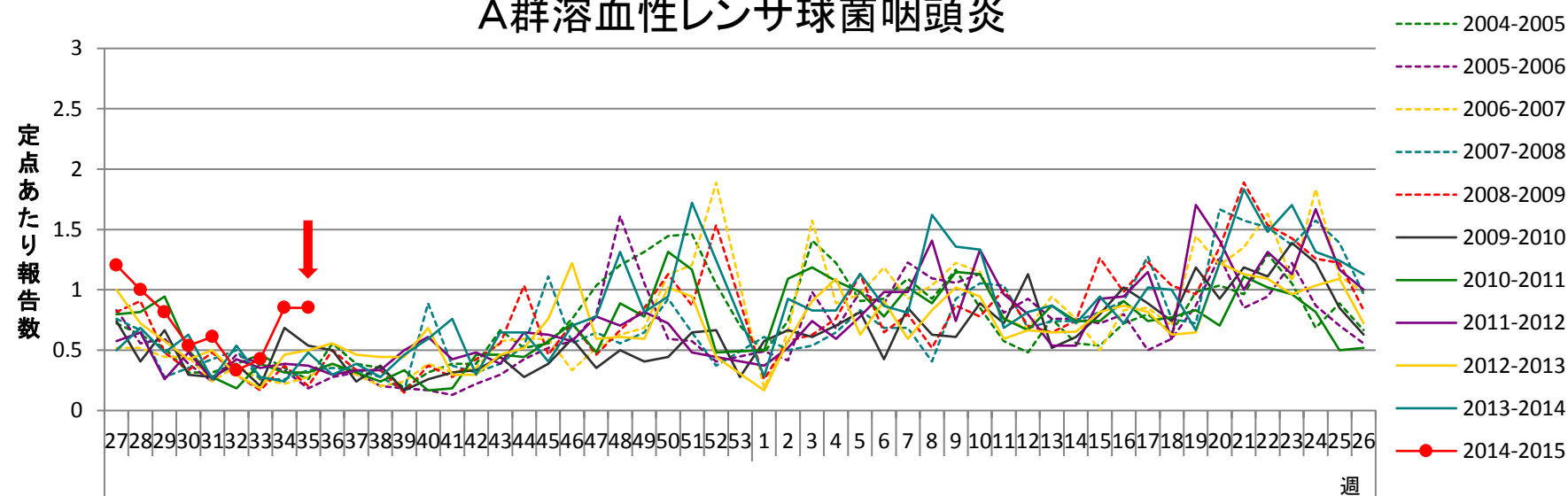
RSウイルス感染症



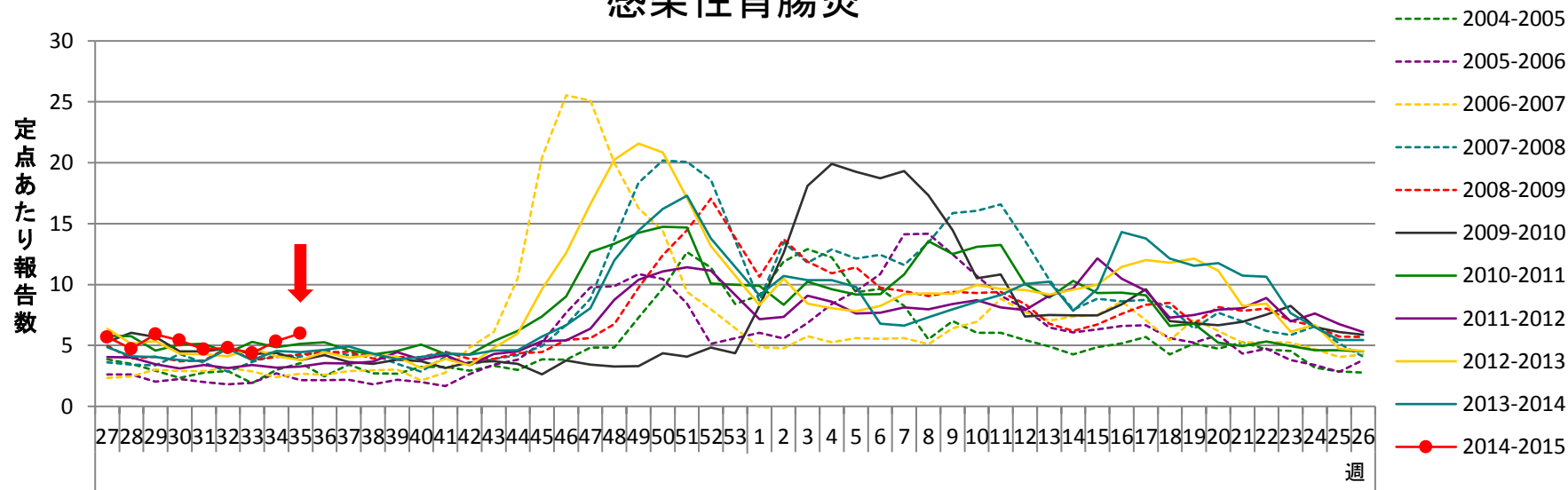
咽頭結膜熱



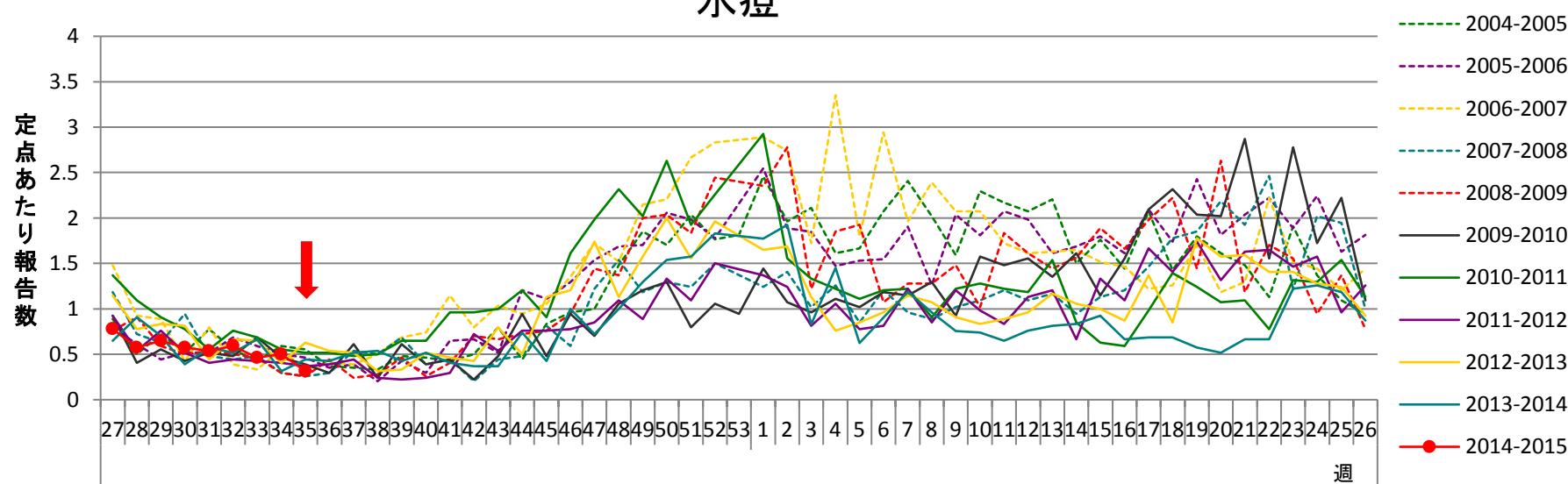
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



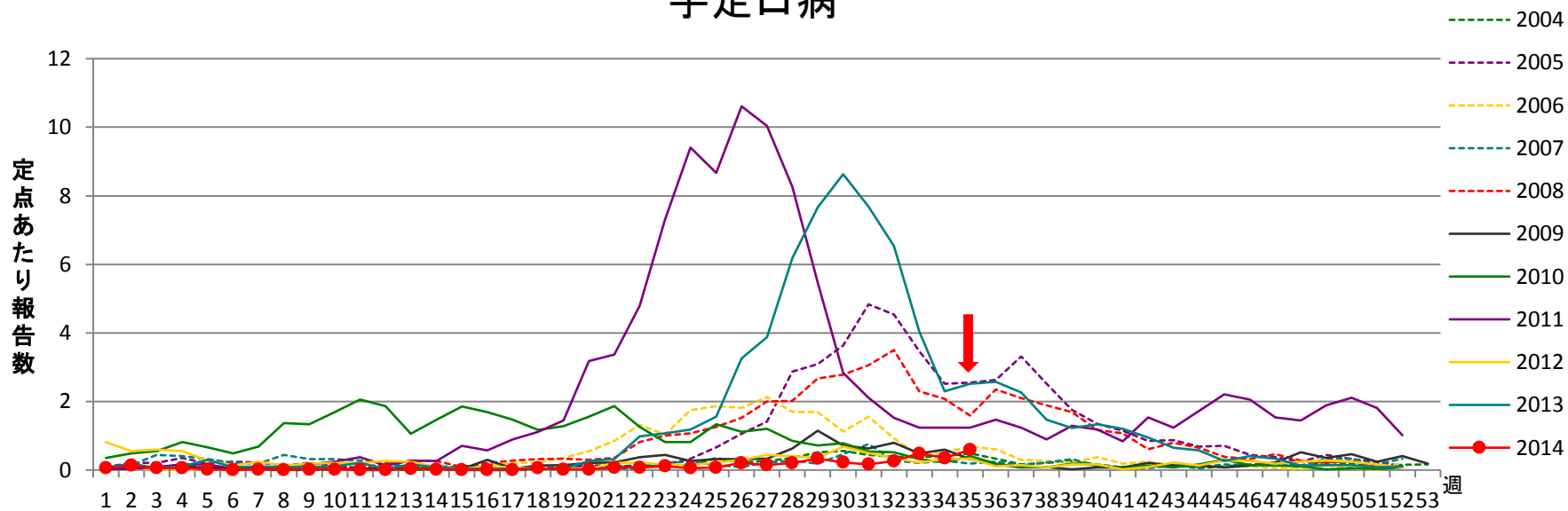
感染性胃腸炎



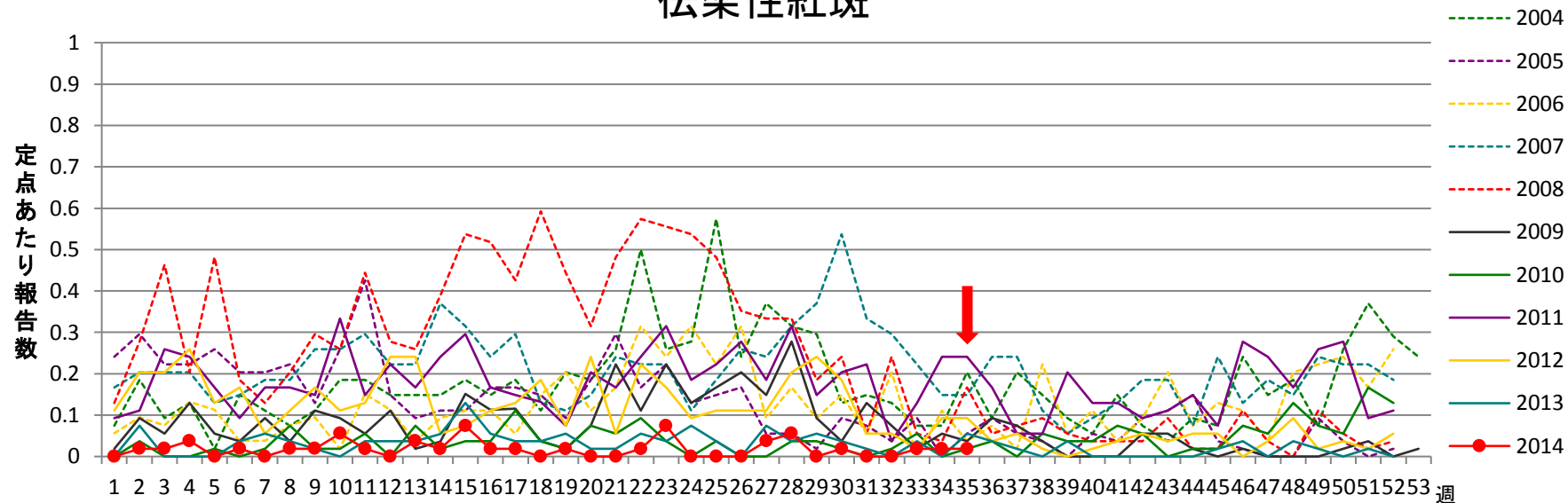
水痘



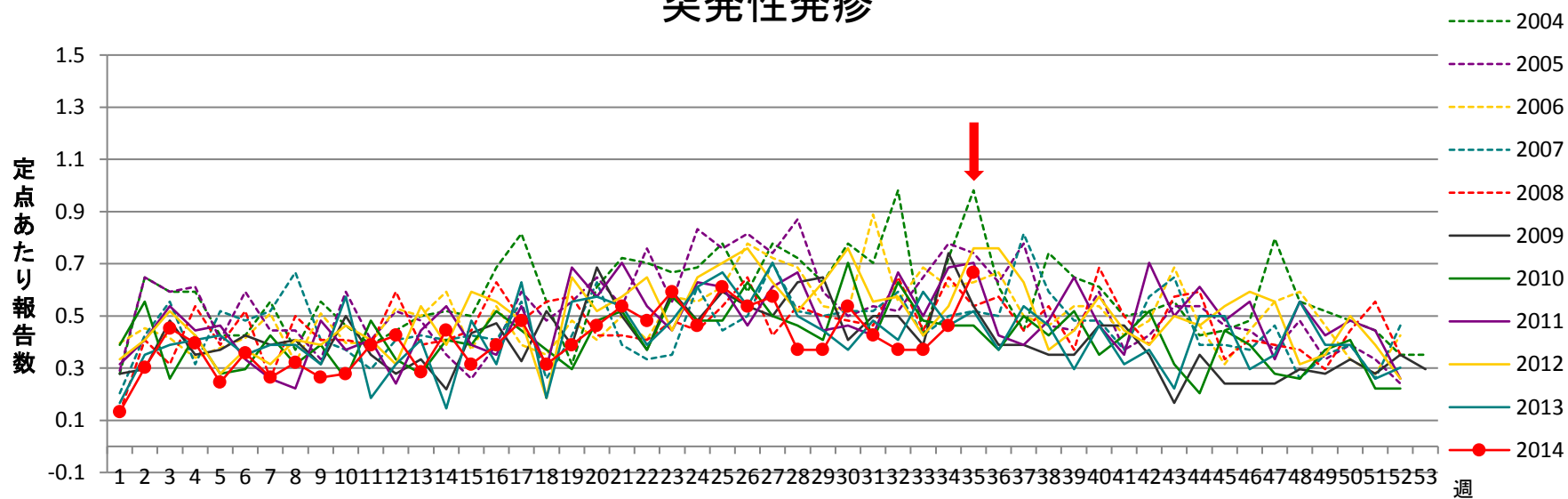
手足口病



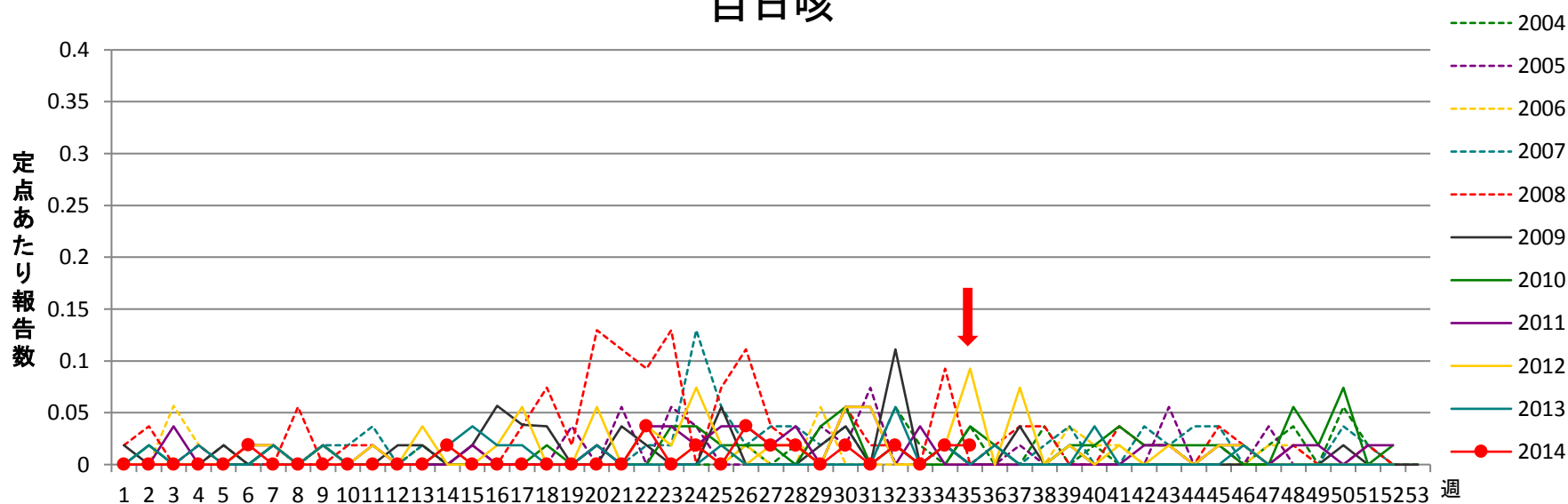
伝染性紅斑



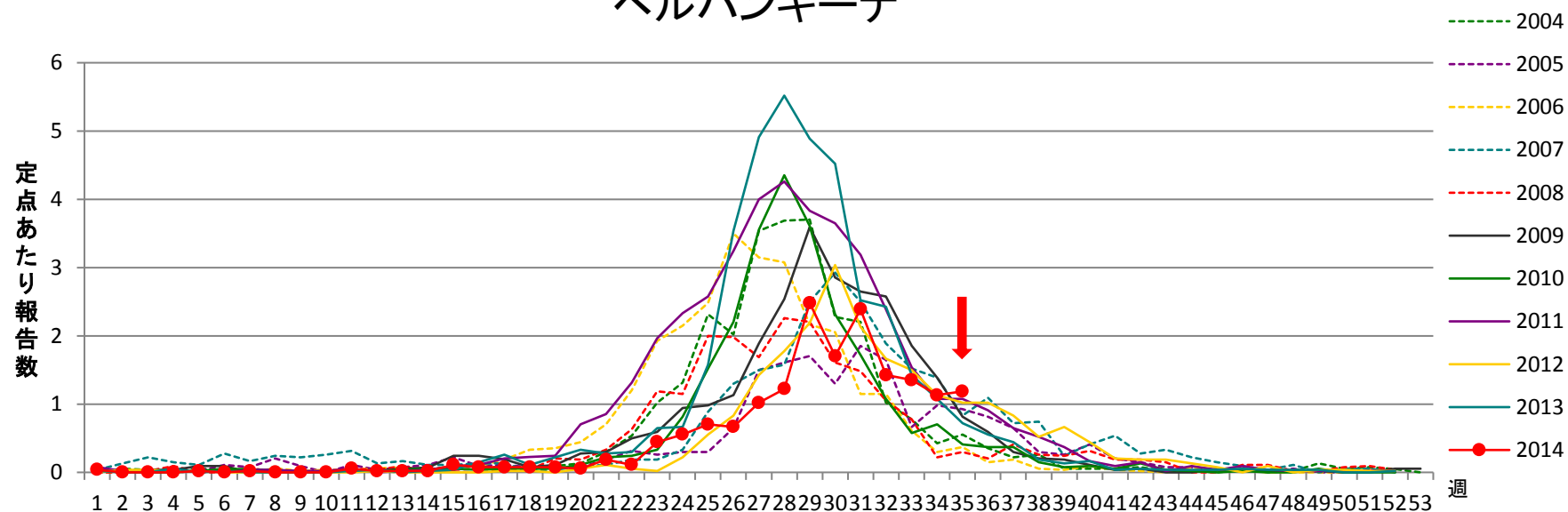
突発性発疹



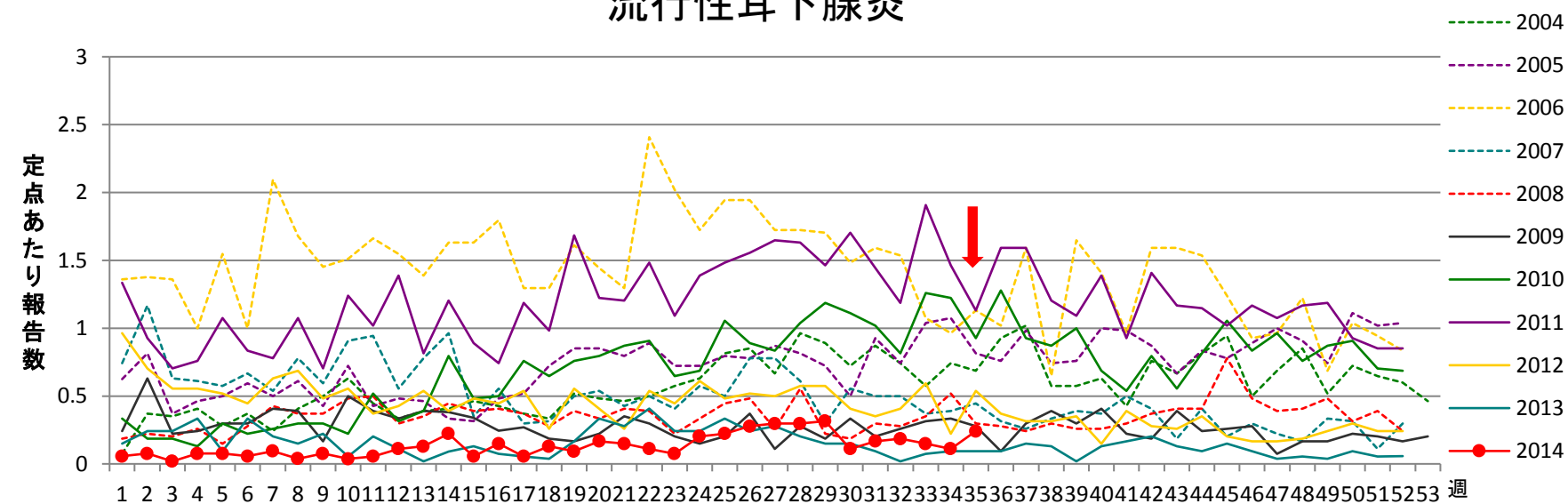
百日咳



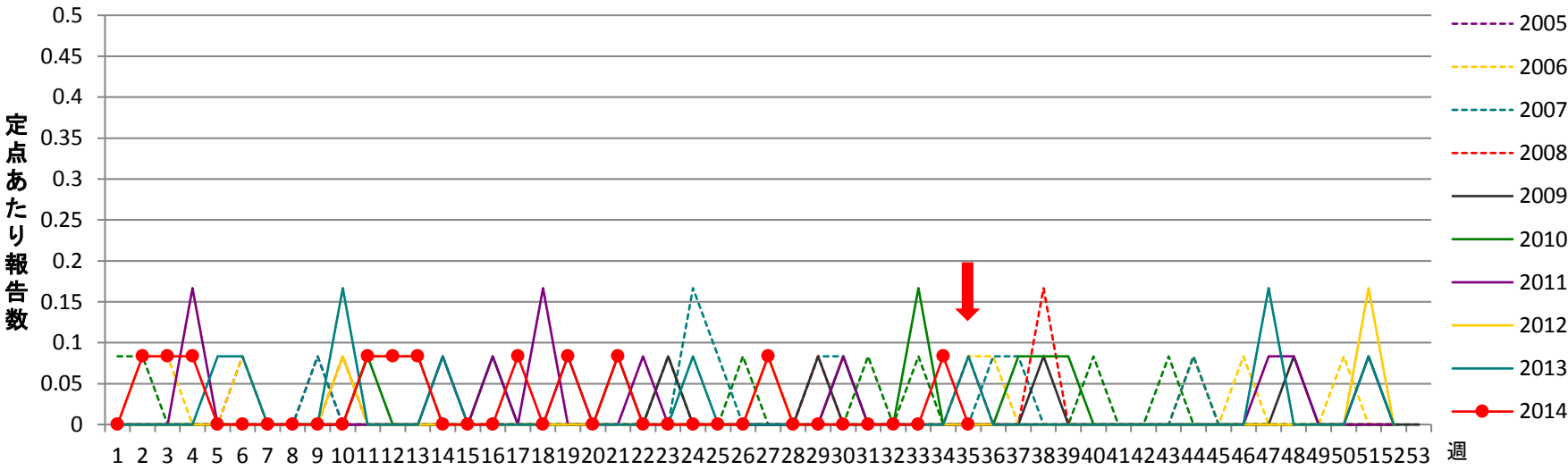
ヘルパンギーナ



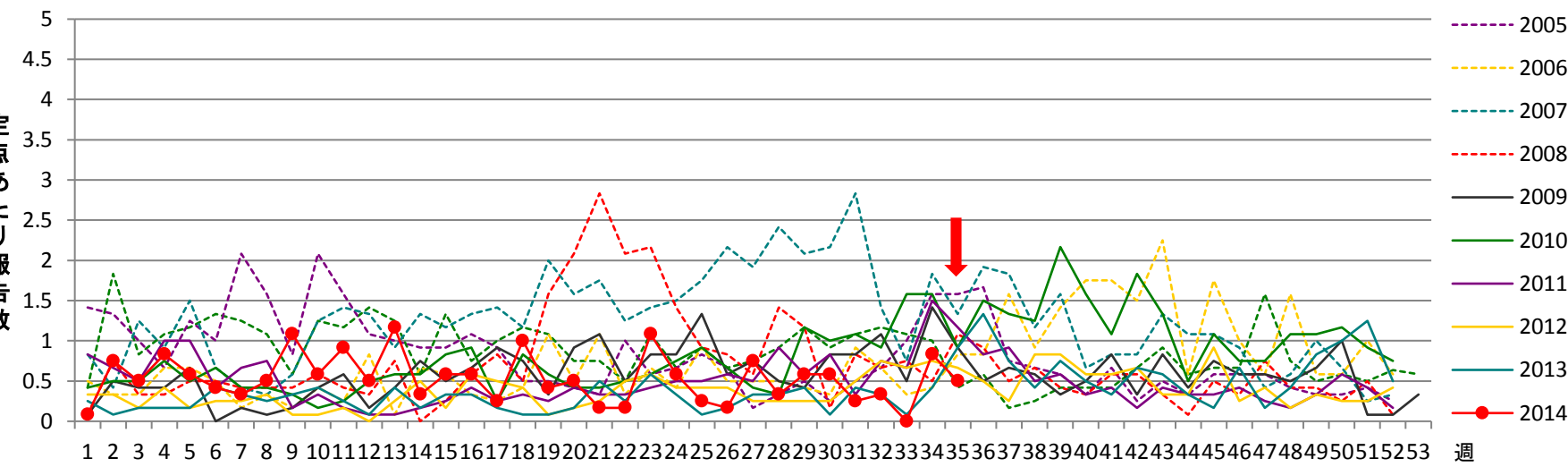
流行性耳下腺炎



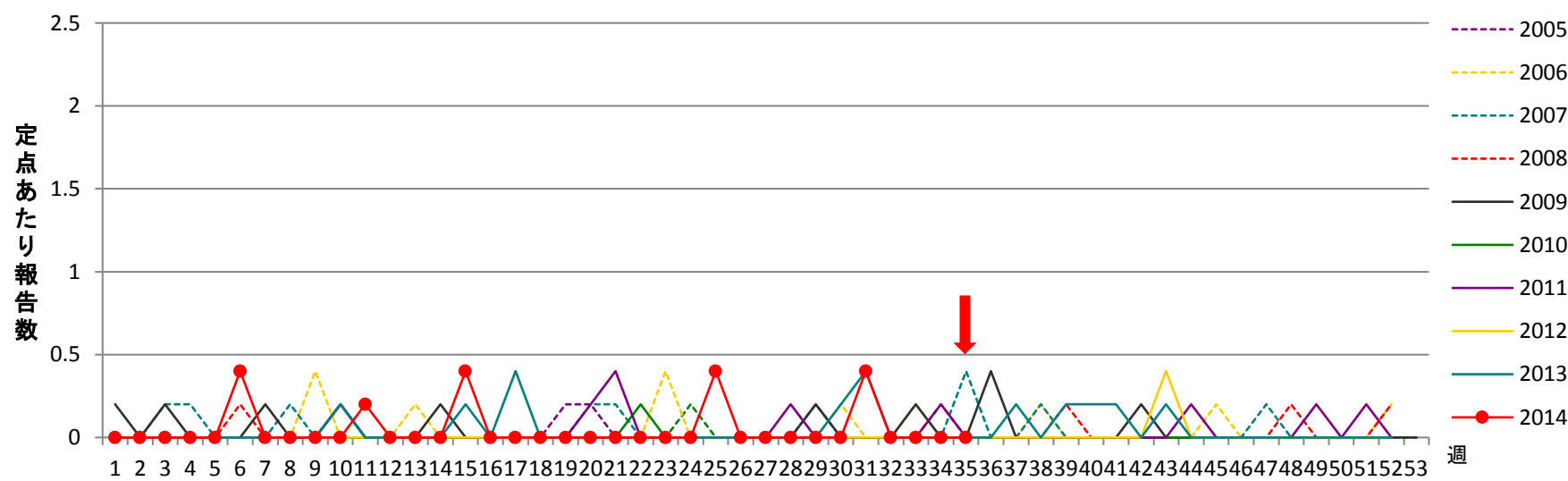
急性出血性結膜炎



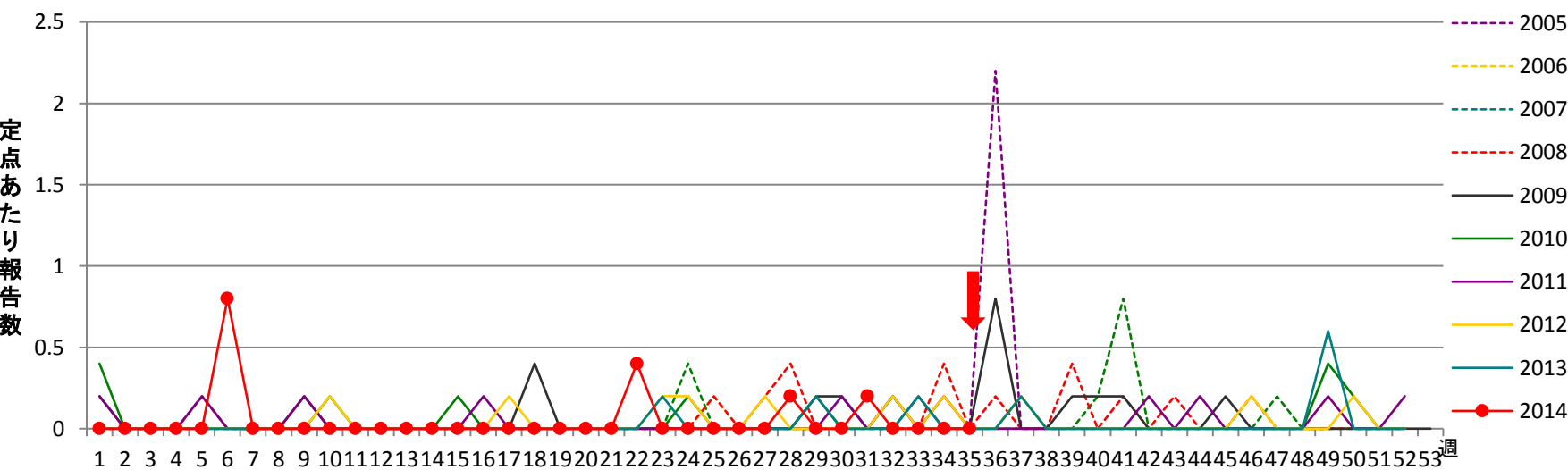
流行性角結膜炎



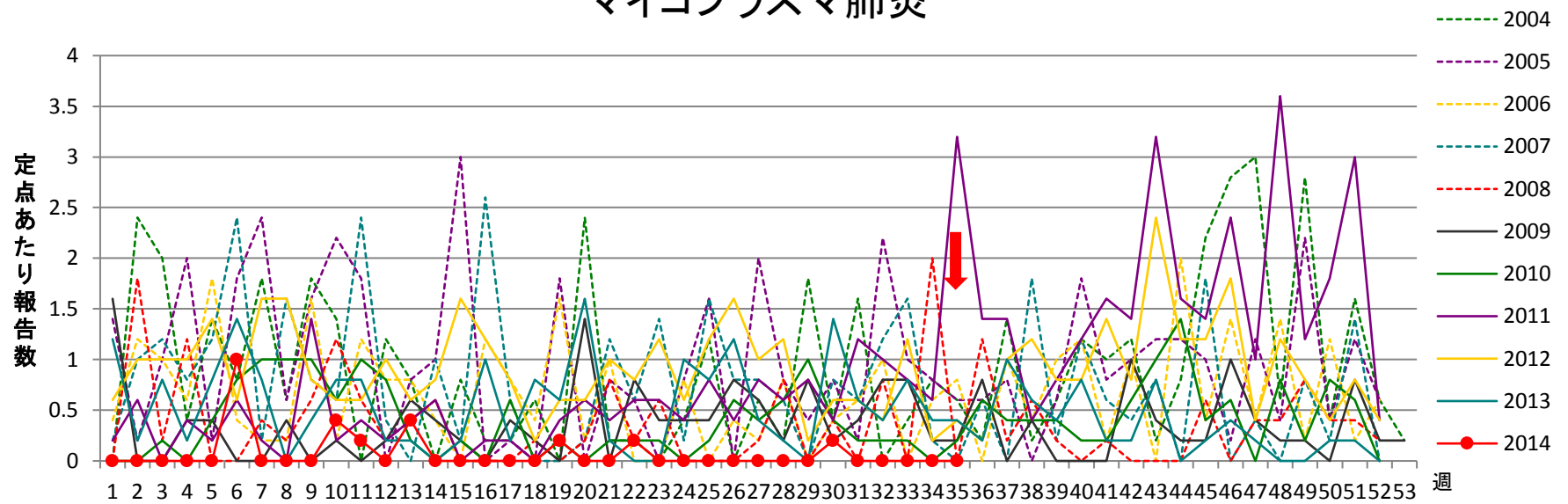
細菌性髄膜炎



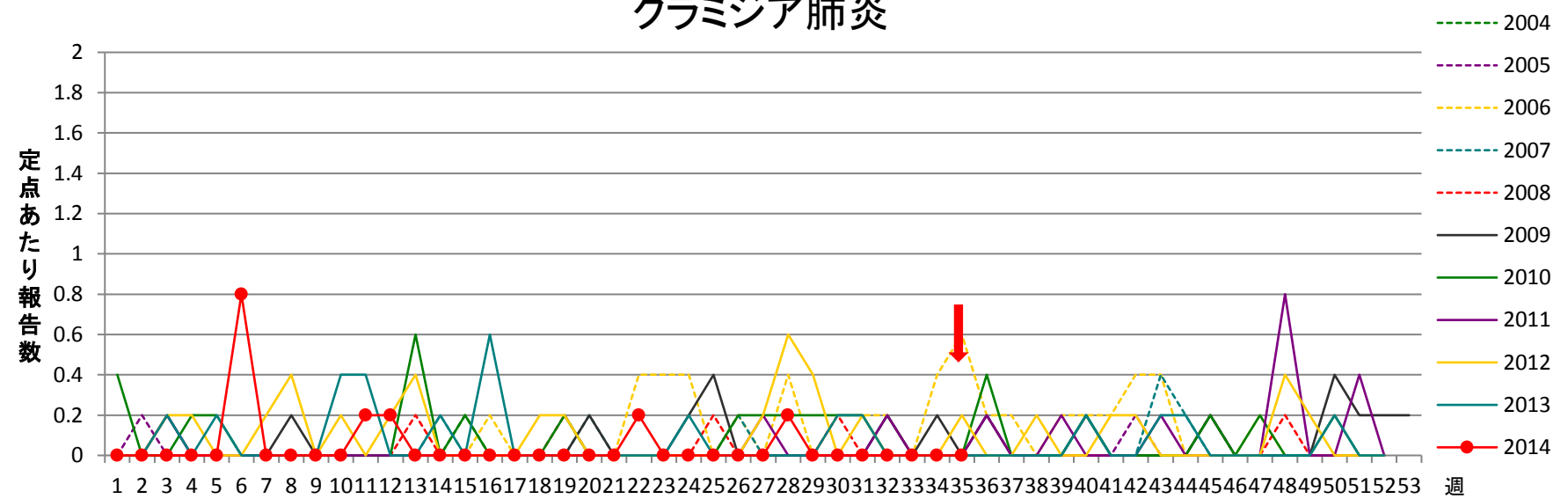
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

